

## 令和4年度 病虫害発生予察情報(美濃地域) 9月予報

**【 果樹類 】**  
**カメムシ類\*** 病虫害発生予察注意報第4号 (R4.8.30付) 発表  
 岐阜市則松に設置した予察灯では、8月上旬からチャバネアオカメムシの捕獲数が平年を上回っています。山林等でスギやヒノキ毬果などのエサが不足すると、果樹園等に飛来する可能性があるため十分な注意が必要です。今後は高温傾向が予想されており、現在被害が認められていないほ場でも飛来する可能性があるため、防除を徹底してください。

**【 水稲 】**  
**トビイロウンカ**  
 西濃地域の予察灯で8月上旬に誘殺、ほ場では8月下旬に岐阜地域の調査で発生が確認されています。近隣県では8月中旬に本虫の発生予察注意報が発表されており、本県でもすでに広域で飛来している恐れがあります。9月以降に収穫を迎える品種では発生に注意してください。発生を確認した場合、使用時期(収穫前日数)等の農薬使用基準を遵守し、薬液が株元にかかるよう散布してください。

○主な病虫害の発生時期及び防除時期(9月)

	病虫害名 (防除適期)	生育状況 発生量	発生時期及び防除適期						防除上の注意事項
			1旬	2旬	3旬	4旬	5旬	6旬	
水稲	生育(ハツシモ)	並	<穂ぞろい>						・8/15調査(6/10田植:農業技術センター)
	穂 いもち	多	<発生最盛期>						・穂いもち 穂ばらみ期~穂ぞろい期に防除を実施する。
	トビイロウンカ	やや多							
	ツマグロヨコバイ	やや多	<第4世代幼虫>						・ツマグロヨコバイ 幼虫最盛期に防除を実施する。
	斑点米カメムシ類	多	本 田 へ の 侵 入 ( 出 穂 以 降 )						・斑点米カメムシ類 穂ぞろい期~乳熟期に防除を実施する。
防除適期		▲	~	▲	穂いもち・斑点米カメムシ類・ツマグロヨコバイ				
大豆	生育(フクユタカ)	遅	<着莢>						
	カメムシ類	やや多	本 ぽ へ の 侵 入 ( 着 莢 期 以 降 )						・カメムシ類 着莢期から子実肥大期に防除する。
	ハスモンヨトウ	並	< 発 生 量 増 加 >						・ハスモンヨトウ 白変葉を認めたら直ちに防除する。
防除適期									
かき	岐阜西濃 中濃	並							・幼虫発生初期の防除を徹底する。
	ハマキムシ類	やや多	<第4世代>						・着色始期までに防除を実施する。
防除適期									
なし	黒 星 病	並	< 発 生 量 増 加 >						・収穫後の秋期防除を徹底する。
	防除適期			▲黒星病 ~					
果樹	カメムシ類	多	< 新 世 代 成 虫 >						・飛来が認められる場合は直ちに防除を実施する。
	防除適期								
野菜・花き	灰色かび病	やや多	< 発 生 量 増 加 >						・同一系統薬剤の連用は避ける(薬剤抵抗性の発達)。
	ハスモンヨトウ	並	< 発 生 量 増 加 >						・灰色かび病 花がらや葉先枯れは感染源となるため取り除く。
	タバコガ類	やや多	< 発 生 量 増 加 >						・アブラムシ類 苗からの持ち込みに注意する。
	アブラムシ類	並							・ハスモンヨトウ・タバコガ類 若齢幼虫期の防除を徹底する。
	コナジラミ類	並							・コナジラミ・アザミウマ類 施設栽培では虫媒性ウイルスへの感染防止のため、防虫ネット展張による侵入防止と定植時の粒剤施用を徹底する。
	アザミウマ類	並							
防除適期									

注1) ▲、▲~▲: 防除適期  
 注2) 美濃地域は岐阜、西濃、中濃及び東濃地域  
 注3) 用語の定義及び基準については「発生予察事業の調査実施基準」に準ずる

### いもち病（穂いもち）

7～8月の曇雨天により、出穂期を迎えている一部の晩生品種では穂いもちの発生が確認されました。今後の天候によっては穂いもちの多発が懸念されることから、出穂期の防除は確実に実施してください。

### 灰色かび病（夏秋トマト）

8月下旬の発病状況調査では、各地域の平均発病株率が、中濃地域が30.0%、東濃地域が19.0%と高くなっています（表1）。本病は20℃前後の比較的低温で90%以上の高湿度が連続すると蔓延が著しくなります。気象庁の1か月予報では、降水量は平年並か多い見込みと予想されており、秋雨前線による影響も考えられることから、発生が増加することも予想されます。本病は花がらや葉先枯れ部などの枯死した部分に大量に胞子を形成するので、枯死部は早めに取り除くとともに、早めに薬剤により防除を実施してください。

表1 令和4年度トマト灰色かび病発生状況調査結果

調査地点	8月上旬		8月下旬	
	発病株率(%)	発病果率(%)	発病株率(%)	発病果率(%)
中濃地域 白川町	2.0	0.0	30.0	2.1
中津川市①	—	—	22.8	0.0
東濃地域 中津川市②	—	—	18.1	5.7
恵那市	18.0	13.7	16.0	7.3
平均	18.0	13.7	19.0	4.3

※ゴーストスポット果は発病果に含む

### 果樹カメムシ類

果樹カメムシ類は7月までの少発生から転じて、8月上旬以降増加し、岐阜市則松に設置した予察灯では、チャバネアオカメムシの捕獲数が平年を上回っています（図）。

また、チャバネアオカメムシ新世代成虫が果樹園に飛来する目安となるヒノキ毬果の口針鞘数（カメムシの吸汁痕）が急激に増加しています。口針鞘数が1果当たり25本に達すると、ヒノキ林からの離脱が始まるとされていますが、地点によっては8月下旬にカメムシは離脱済みと予測されます（表2）。カメムシの飛来を確認したら、直ちに防除を実施してください。

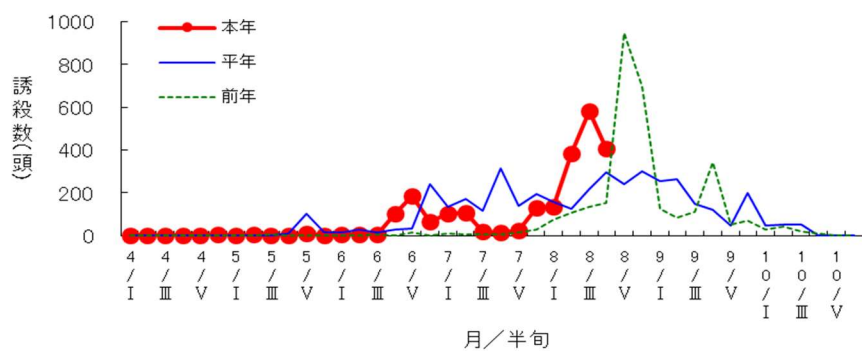


図 予察灯によるチャバネアオカメムシ誘殺数の推移(岐阜市則松)

表2 ヒノキ1果当たりの口針鞘数 (本/果)

	岐阜市 秋沢	大野町 寺内
7月上旬	0.0	0.0
7月中旬	0.1	0.1
7月下旬	0.4	0.9
8月上旬	4.7	5.2
8月中旬	13.4	5.7
8月下旬	31.9	5.6

### 農薬の安全使用に努めましょう！！

農薬の適正な使用、保管管理に努め、農薬を散布する場合は、周辺に栽培されている作物のみでなく、住宅地等を含めて飛散がないよう、十分に配慮してください。

### 東海地方1か月予報 (名古屋地方気象台 8月25日発表)

向こう1か月、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。気温は平年並か高く、降水量は平年並か多いでしょう。

岐阜県病害虫防除所では、この他に病害虫の詳細な調査データをホームページにて公開しています。

[https:// www.pref.gifu.lg.jp/soshiki/24321/](https://www.pref.gifu.lg.jp/soshiki/24321/)

〒501-1152 岐阜市又丸729-1 TEL (058)239-3161 FAX (058)234-0767



岐阜県病害虫防除所  
トップページ  
QRコード